



月灯

2020年2月号(第9号)
発行・kuutamobungeibu 文芸部

「書く人読む人そして聴く人」は、誰かが書いた作品を、違う誰かに読んでもらったり、

みんなでその朗読を聴きましょう、という企画です。

第8回目は、令和2年4月19日14時～(時間変動有)、早稲田スコットホールギャラリーで開催します。大正期の希少な赤煉瓦建造物の、当時の煉瓦をそのまま展示壁面とした重厚な雰囲気

☆聴く人募集

当日書く人が作品を読む人が朗読します、みんなで一緒に聴きませんか？参加費1,500円です(書く人の作品を収めた冊子のお土産付)。参加ご希望は kuutamobungeibu@gmail.com まで。



春にもならない

みち

ホットコーヒーのうちに
受け取ったときはひどく熱かった
ホットコーヒーを飲みながら、文章を
考えていた。僕が書くのはつまらな
い文章だけど、僕にとっては大切な
行為なんだ。

時間を忘れて没頭していたら、いつ
のまにかホットコーヒーは常温にな
っていた。常温になったらホットコ
ーヒーはただのコーヒーと呼べばい
いのか。コップに半分も残っている
コーヒーを一気飲みしてむせた。ホ
ットコーヒーのうちにもっと飲んで
おけばよかった。後悔してもコーヒ
ーの温度は上がらない。いつだって
そっだ。

*

サンデーブルー
日曜日でも寝坊はしない。生活リズ
ムを一瞬でも変えると体調が悪くな
る。いつもと違うのは出かける必要

がないから気持ちに余裕ができるこ
と。普段は開けないカーテンを開け
て空を見る。5時の東の空は朝焼け
が見えるようになってきた。濃紺か
ら太陽光のグリーニッシュはとも
きれいで無敵でかなわない。こんな
朝を過ごしている自分を褒めよう。
これから僕の胸はざわつき始める。
気持ちが悪くなる。全部月曜日のせ
いだ。だから、せめて朝くらい気持ち
良く過ごさせてくれよ。朝焼けがな
くなって青空になった。ブルー。サン
デーブルー。

*

理由
見えないものがある。
見たくないものがある。
僕には見たくないものしか見えな
い。

今日も生きる。
明日も生きる。

みちプロフィール

現在メンヘラ工事中。いろんなこと
ができません。毎日ブログ書いてい
ます。見つけてください。
<https://ameblo.jp/michi-081/>

よたか堂通信・2月

＜ブックレビュー＞
「ナウシカ考」赤坂憲雄 著／岩波書
店

著者の赤坂憲雄さんは東北地方の
習俗に精通し、そこから「東北学」を
提唱する民俗学者であり、彼が宮崎
駿の漫画「風の谷のナウシカ」につ
いて何を語るのに興味を持ちました。
読んでみるとそれが思った以上に漫
画のあらゆる場面の細部を拾い上げ、
時間をかけて再読するような読後感
を持っていたことが少し意外でした。
それは「風の谷」という辺境から、
その作品世界を世界の根源を辿る
壮大な旅へと拡げて行っ

月灯はネットプリントもしくは <http://kuutamobungeibu.jp/> で印刷できます。

手にして下さったかたはぜひ、SNSで呟いてください。#kuutamobungeibu 郵送もします、連絡ください。

次号(2月号)2020年2月15日発行予定/部員原稿〆切/2月5日
全ての問合せ・原稿入稿先/kuutamobungeibu@gmail.com

た作品の、その精神的行程を絵ではなく(実際収録されている図版はかなり少ない)言葉に「よって、時には漫画の台詞を文字によって引用しながらじつくりと辿り直すようなものだった。

漫画作者が意図してが無意識にか描き残したこの作品世界の人々の暮らして、習俗、祀られる神や、死生観などなど、(それが宮崎駿さんによって描かれたものでなくとも)筆者は立ち止まり、そこに作品の属する精神世界を読み解こうとすると思われ、そこには市井の人々のささやかな声を拾い上げ大きな歴史、大きな国家に対峙するものを築き上げようとする民俗学的方法論も感じられたのでした。

東日本大震災や、福島原発事故の体験に関連づけても語られることが多かった「風の谷のナウシカ」ですが最終刊が出版されたのは、阪神大震災と地下鉄サリン事件の起きる直前(1994年末)の時代だった、と思

タイトル：【二〇二〇】

秋崎美穂

「え、じゃあ洋ちゃん結婚してたの?」

「そう。本当じつくりしちゃったよ。告白する前に聞いたのが不幸中の幸い」

「私たちが酔い潰れた後にそんなことになっていたとは……。それで、相手は?」

「会社の先輩だって」

「うーわ、それ年上ってこと?、もう、なんていうかお気の毒じゃか」

「お互いお金のこともあるし式はまだ挙げないんだって。皆にはそのとき報告するつもりだったって言った。にしても、今までそんな気配全くなかったからねー 付き合っって一年以上経ってるってじつくり」

「本当それ、ありえないから。あいつ罪が深すぎる。懲役二年に処す

返すとき、自分のこの漫画の読書体験の記憶と共に、来るべき時代に向かってじつくり読み返してみたい思いに駆られます。あとがきにも、このような作品が時代を超えて読み継がれてゆくには「きちんとした読者」の必要が書かれ、まさにその道を指し示してくれる本でした。

<展示情報>

絵画展「くまの星」

昨年夏に続いて、千葉県は久留里(くまの星)の、TIDE LAND BOOKSさんにて絵の展示をします。展示タイトルは宮沢賢治の星巡りの歌で「空の巡りの目当て」と歌われる「くま座の北極星がらイメージしました。冬から春へ向かう季節ですが、あらためて北への視点やあこがれ、またちいさな命と宇宙、星の世界が響きあうような絵を描きたいと思います。

2/14(金) 3/14(土)

Book Cafe & Kitchen TIDE LAND BOOKS & 東ノハテノ国 ぐるり食

NO1

「異議あり! 彼は恋人がいるにも関わらず私と二人で会ってました。いつも電話に付き合ってくれるじいさんもフェスも行きました。それでいきなり結婚の報告だなんて酷すぎます。懲役十年は必要です」

「さすがに長すぎるわ」

「だって……」

「うーん、でもさ、カオルももう洋ちゃん好きになって長いじゃん? そもそもなんで告白までいけなかったのかね。いくらでもタイミンがあったでしょう?」

「だって洋ちゃんがかっこよすぎて……。良い友達を維持するのに一杯だったとどうか」

「それは分かるけど。これからどうするの? 今月バレンタインもあるの?」

「ああ、それを言わないで。今までさりげなく本気予ヨ」あげてきたのに、既婚者って知っちゃったらさす

堂

千葉県君津市久留里市場554番地

11:30~18:00 / 定休日/水、日曜

日

<https://tidelandbooks.shopinfo.jp/>

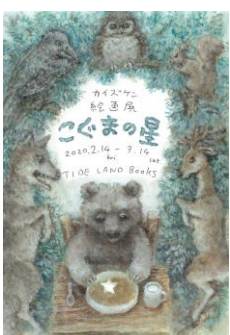
p/

プロフィール・画家ときどき一箱古

本市店主。

Twitter: たか堂

@tuchihannyoo



がにあげづらいよ……」

「そっだよねえ。あ、ねえ、そのケーキちよつとちよっだい」

「ああ、はいどうぞ。いくらでも」

「ありがとう。……あつ、おしい。こっちも食べる?」

「はい。いただきます」

「……とりあえず、こうしたら?」

洋ちゃんに告白ー」

「え、何がとりあえず? 洋ちゃんと不倫なんて、できるわけないじゃないっ。いくら今話題だからって……」

「ばか。振られる覚悟ですものよ。今までの気持ちがこのままやむやになったら勿体ないし、本当に不倫になりたくないなら尚更きつちりけじめつけなきゃ」

「イイは大学の時からの親友で、ずっと私の恋を応援してくれていた。大学生活は四年もあったのに、私が洋ちゃん以外の人を目に映したことはなかった。彼はきつと、そのこ

花粉症うつ

佳凜

花粉の季節がやってきました……でもマスクがありません……新型ウイルスの感染も怖いけれど、花粉が怖い、マスクはいつになったら店頭で並ぶのかしら。ウイルスやら不倫やらの騒ぎで例年より花粉のことをメディアが騒がないけれど、じつかり花粉は飛んでるんですよ。いつからなのか……桜が咲いてご陽気な春が、花粉症のせいで気分がめつきり落ち込む季節になってしまったのは……。

プロフィール

更年期との闘い、ラグビーにはまることで日々楽しく暮らせています。寒い中のラグビー観戦は入力とします、オススメ。

とに気が付いていたんじゃないかと思う。でも距離を取ることもなく、お互い何も行動を起こさずとなく時だけが過ぎていた。

「確かに、そっだね」

窓の外に目をやると、二月の空にはまだ冷たい風が吹きつけていた。

プロフィール:

音楽と紅茶が好きです。今年の目標に文フリ参加が加わりました……お詳しい方がいたら教えてください。

……。

……。

文フリには、部員が何人か参加するはず!!